

2025年度

S B

小論文

3月12日(水) 人文社会科学部 (言語文化学科) 10:00~11:30
【後期日程】

注意事項

試験開始前

- 1 監督者の指示があるまで、問題冊子、解答用紙、下書き用紙に手を触れてはいけません。
- 2 監督者の指示に従って、全部の解答用紙(2枚)に受験番号を記入しなさい。

試験開始後

- 3 この問題冊子は、2ページあります。はじめに、問題冊子、解答用紙、下書き用紙(1枚(表裏))
を確かめ、枚数の不足や、印刷の不鮮明なもの、ページの落丁・乱丁があった場合は、手をあげて
監督者に申し出なさい。
- 4 解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。(下書き用紙と間違わないよう十分注意してください。
下書き用紙は採点対象となりません。)
- 5 文字数制限のある解答用紙の記入については、下記の点に留意すること。

- ・書き出しは、一マスあける。
- ・改行したら、最初の一マスをあける。
- ・句読点及び括弧等は、それぞれ一マス使う。行の末尾については文字と同じ一マスに含める。
- ・小さな文字「っ」「ゃ」「ゅ」「ょ」等はそれぞれ一マスで使う。
- ・英数字は一マスに2文字入れてよい。

- 6 問題は、声を出して読むてはいけません。
- 7 配点は、比率(%)で表示してあります。

試験終了後

- 8 問題冊子と下書き用紙は、必ず持ち帰りなさい。

著作権の関係上、公表しません。

次の文章は、「講話記録」「やまじき沈黙」と「パレ－シア」からの抜粋です。文章を読み、あとの設問に答えなさい。

の権、ま 上、し 作、表 関、公 係、表 せ ん。

〔出典〕奥村隆「やましき沈黙」と「パレーシア」(関西学院大学チャペルトーク2021年六月)

https://www.kwansei.ac.jp/cms/kwansei_s_sociology/chapel/Talk2021/P20%E5%A5%A5%E6%9D%91.pdf

問一 筆者はこの講話の中で、本文章のタイトルにある「やましき沈黙」について、「間違っている」と一人一人は心の中で思っているけれども、組織がその方向に進むと口に出すことはできず、組織の空気に飲み込まれて、自分の意思ではない方向に流されていくものと説明しています。「やましき沈黙」と「パレーシア」がどのような関係にあるか、本文の内容を踏まえて説明しなさい(四〇〇字以内)。(配点五〇%)

問二 「パレーシア」が重要になる局面はどのようなものか、歴史やあなた自身の経験、あるいは文学・演劇・映画・漫画・アニメ・ゲームなどから例を挙げ、どのように「パレーシア」の実践がなされ得るか、論じなさい(四〇〇字以内)。(配点五〇%)

採点・評価基準（具体的基準）

教科・科目名	小論文（後期日程試験：令和7年度） 1 / 1	問題番号	S B
対象学部・ 学科（課程）等	人文社会科学部（言語文化学科）		
出題のねらい	<p>問一では、「パレーシア」という概念がどのようなものかについて、課題文から読み取ることができるかを問い、それと「やましき沈黙」との関係について問うことで、より厳密な意味での読解力を測ることをねらいとしている。問二では同じく課題文での「パレーシア」の意味を正しく把握できているかを測ると共に、読み取った内容を（それがフィクションであるかを問わず）具体的な状況に適用して自ら考えを展開する力を持っているか、そのために必要な問題意識を普段から持っているか、そしてそれをしっかりと表現できる文章力を持っているかを測ることをねらいとしている。</p>		
採点基準	<p>問一 配点 50%、問二 配点 50%。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題文の内容を理解した上で、その内容から大きく逸脱することなく、自身の考えや経験などを十分に表現しているか。 ・ 指定した字数通りに書かれているか（字数を大幅に超えていないか、あるいは字数が極端に少なくなっていないか）。 ・ 「注意事項」の解答用紙の記入に関する留意点を守っているか。 ・ 文の組み立て方が文法的に整っているか。 ・ 誤字や脱字、送り仮名の間違いなどが無いか。 ・ 文章全体に整合性があるか。 		